

怒涛

題字 藤 禄 郎 氏
近藤 禄 郎 氏

立 年 号
創 十 周 集
百 特 集 号

柏中柏高同窓会新聞
発行代表者 土田新吾
印刷所 印刷所
（株）柏崎インサツ

11月6日(土)

記念式典・祝賀会

創立百十周年を迎え、校記念事業委員会も十一回開かれ、着々と準備を進めているところです。

十一月六日(土)に記念式典(母校体育館と記念祝賀会(市産業文化会館)を開催します。記念誌『回顧百十周年』を平成二十三年三月刊行予定で準備を進めています。(二口五千円以上の寄付された方には全員贈呈、募金委員会では、魅力ある学校教育への助力などを趣旨として、事業基金二十万円を目標に募金活動を行っています。

事業委員会は、会長土田新吾(高16)、同窓会長、募金委員長石黒信行(高2)、同副会長、副委員長に相澤陽一(高8)、奨学会会長、青木健P T A会長、浅野隆校長の各氏のほか、各卒業期から募金委員を選出していきます。

平成二十三年三月三十一日までに一人一口五千円(なるべく複数口を希望)で募金をお願いしています。名簿はすでに刊行して各員各位にお届けをしています。若干の

予備がまだありますので事務局までお申し込みいただければ、送料別途四千四百円でお届けいたします。

記念式典では、午前十時四十分から宮脇昭氏(横浜国立大学名誉教授)の記念講演「明日のために……生物社会の掟に沿って」があります。

参加希望者は官製はがきで申し込みをお願いします。午後一時から記念祝賀会(市産業文化会館)が開かれます。大勢の方のご参加お待ちしております。

式典委員会

日時

平成二十二年
十一月六日(土)
式典 九時四十五分
開会

委員長 吉田 弘

講演 十時四十五分
開演

講師 宮脇 昭氏

会場 柏崎高校大体育館

祝賀会委員会

期日

平成二十二年
十一月六日(土)
午後二時

委員長 青木 健

場所 柏崎市産業文化会館

料金 五千円(前売り券をお

記念講演委員会

記念講演は植生の世界的権威

宮脇 昭氏です

世界各地を飛び回って植生調査を行うと共に、その土地の植生をふまえて三千万本の植樹をしてきた理論と実践の人、そ

代表 相澤陽一

れが宮脇 昭先生です。豊富な実践と自らの理論に基づき、情熱的に語る宮脇さんの話は、単なる学術的な講演の域を超え、聴く人々に面白さと感動を与えます。さらに、植物世界のいきりを通して私たちの生き方にも多くの

校や陸軍士官学校の生徒たちにも読むようすすめたという事です。『武士道』がこれほどまでに評価されたのは特権階級の守るべき道徳律が昇華されて日本人の普遍的道徳観となつたこと、そしてその道徳観が世界に通用する品格の高いものであることを明らかにしたから

や校歌の中に新戸部が著した武士道の精神をみる事が出来ます。この大事な時にこそ我が校の伝統が光るものとなるでしょう。創立百十周年を日本人の、柏崎人の心と力を再認識するための年とした記念誌の出版等、全力をあげて準備しております。これらの事業を支える募金活動も終盤にさしかかっております。関係各位のご理解とご協力を心よりお願いいたします。

買い求め下さい) 前売り券の販売は八月以降、各期の幹事を通じて行う予定です。同窓会事務局へ直接申お渡します)

記念誌委員会

委員長 根立俊樹

当委員会では、昨年六月の発足以来、篠原真同窓会副会長(高14)を委員長、学校側の岩崎智男教諭を副委員長として、記念誌の全体構想をまとめ、概略を本紙のページに掲載していただきま

し込む場合はハガキでお願いたします。(その場合は、当日受付で料金と引き換えにチケットをお渡しします)

き、実行委員会でも了承されたところです。また、小山教諭のほか八名の先生方が参加してくださることになった上、懸案となっていた在校生の参加が実現するなど、学校側の協力体制も整ってきました。

を、ぜひともお願いしたいというのが現状です。なお、記念誌の刊行予定は年度末(平成二十三年三月)ですが、印刷・製本の都合を考え、式典当日以外の記事は、八月末日をしめ切りいたしました。お含みの上、皆様の積極的な協力をお願い申し上げます。

指針を示してくれま

柏高の浅野校長先生は早速DVDを買い求めたのですが、面白くて三回も視聴したそうです。また、宮脇先生は柏高にいられることを大変楽しみにしていると言っておられます。是非とも多くの方々に感動を共有していただきたいと思っております。

今年四月からは、副委員長が交代して、新任の小山よしみ教諭(高40)となり、同教諭とともに検討を重ねた結果、このほど各項目ごとのページ割りと担当者の細案がで

た。外部の方の働きかけはまた始まったばかりで、同窓会各地支部の活動状況をはじめ、「選抜出場」や「ときめき国体」さらには「中越沖地震」など、関係者のご寄稿あるいは適任者のご推薦

柏崎高等学校 創立百十周年

記念式典までいよいよあと数ヶ月。実行委員皆様の努力の甲斐もあって準備は着々と整いつつあります。具体的な事業については、それぞれの委員長様から進行状況等について報告がありますが、皆様方の一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。大変な不況の中、心身ともに萎えてしまった観のある日本の現状ですが、我、柏崎高等学校の最近の活躍ぶりは、そんな不安を払拭する力強さがある

ります。平成二十一年度の進学率は県内第一位となつたようです。この十年間確実に実力をつけてきました。初の甲子園出場や新潟国体での水球部の活躍等文武両道において目ざましいものがあります。我

三年)は我が校の創立された年でありますが、この年は日本人が日本人のもつ良き徳義について自ら気づきはじめてきた年です。

で訳出され世界的ベストセラーとなり、新生日本の姿を世界に知らしめることとなりました。これを読んだ時のアメリカ大

即ち新戸部稲造が『武士道』を日本において発刊した年です。前年にアメリカに贈り愛読をすすめたばかりでなく、海軍兵学

輝け柏崎高等学校
実行委員長 土田新吾(高16)



輝け柏崎高等学校
実行委員長 土田新吾(高16)

宮脇昭博士のプロフィール



横浜国立大学 名誉教授
(財)国際生態学センター所長
NPO地球の緑を育てる会 顧問

経歴

- 1928年生まれ
- 1952年 広島文理科大学生物学科卒業
- 1961年 理学博士号取得
- 1990年 1990年度朝日賞受賞
- 1992年 紫綬褒章受賞
- 1993年 横浜国立大学名誉教授
- 同年10月 (財)国際生態学センター所長就任
- 1995年 ドイツ・チュクセン賞受賞
- 1997年 国際植生学会 世界初の名誉会員に
- 2000年 勲二等瑞宝章受賞

著書

- 『森よ生き返れ』(大日本図書)
- 『鎮守の森』(新潮社)
- 『緑環境と植生学』(NTT出版)
- 『日本植生誌(全10巻)』(至文堂)など多数。

■宮脇方式

広島文理大学時代の雑草学の研究がドイツのチュクセン教授の目にとまり、ドイツに渡って、同氏より「顕在するものに潜む潜在自然植生」を学ぶ。帰国後、現場第一主義に徹して日本全土を隈なく調査し、日本植生誌10巻にまとめる。その後、企業、学校、団体等と提携し、市民も参加しての緑化運動は、国内およびマレーシア、ブラジル、中国など1600カ所に及ぶ。

■理 論

土地の「主役」の木を選定し、三役、五役となる複数の樹木を混植・密植することで、自然淘汰、共存共栄して、管理を必要としない森が形成される。関東周辺では、明治神宮などの鎮守の森に見られるように、シイ、タブ、アシ、クス等の常緑照葉樹が主役の木。異なった樹木がそれぞれの特性を活かしながら、それぞれが少しずつ我慢をして、辛抱強く生きる姿が最高の自然環境であると提唱している。

